



2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月25日

上場会社名 伊勢化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4107 URL <http://www.isechem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 湊 崇静

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長 (氏名) 小林 正昭

TEL 03-3242-0520

四半期報告書提出予定日 2019年7月26日

配当支払開始予定日

2019年9月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	8,353	18.1	1,096	92.6	1,077	92.3	702	105.1
2018年12月期第2四半期	7,075	3.7	569	610.6	560	555.8	342	

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 645百万円 (132.5%) 2018年12月期第2四半期 277百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	137.81	
2018年12月期第2四半期	67.18	

当社は、2018年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	29,569	24,440	82.7
2018年12月期	29,156	23,949	82.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 24,440百万円 2018年12月期 23,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		6.00		30.00	
2019年12月期		35.00			
2019年12月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年7月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年12月期の1株当たり期末配当金については、株式併合後の株式に対しての配当金であります。なお、年間配当金合計は、「-」として記載しています。

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	7.6	1,950	23.4	1,900	20.9	1,150	98.8	225.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期2Q	5,135,135 株	2018年12月期	5,135,135 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2019年12月期2Q	35,126 株	2018年12月期	34,726 株
-------------	----------	-----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期2Q	5,100,236 株	2018年12月期2Q	5,101,208 株
-------------	-------------	-------------	-------------

当社は、2018年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想について」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想について	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年1月1日～2019年6月30日）における当社グループをとり巻く環境は、国内では輸出や生産に弱さがみられるものの緩やかな景気回復基調が続いておりますが、世界経済は米中間を始めとした貿易摩擦の影響等から減速の動きも出ており、貿易摩擦の更なる影響、英国のEU離脱や為替相場の動向など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況におきまして、当社グループは、積極的な国内外の販売活動を実施し、生産性の向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比12億7千7百万円（18.1%）増の83億5千3百万円、損益面では、営業利益は前年同期比5億2千7百万円（92.6%）増の10億9千6百万円となりました。また、経常利益は前年同期比5億1千7百万円（92.3%）増の10億7千7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3億6千円（105.1%）増の7億2百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、ヨウ素製品の販売数量が堅調に推移したことに加え、ヨウ素の国際市況が引き続き回復基調で推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、上記要因に加え、操業度の上昇等により営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は前年同期比5億7千5百万円（9.4%）増の66億9千3百万円、営業利益は前年同期比4億4千4百万円（71.5%）増の10億6千5百万円となりました。

[金属化合物事業]

金属化合物事業では、主要製品である塩化ニッケルの販売数量が増加したこと等により売上高は前年同期を上回りました。この販売数量の増加は主に、前年に実施した設備増強が寄与したことによるものです。損益面では、販売数量の増加、操業度の上昇等により営業利益の計上となりました。

この結果、売上高は前年同期比7億2百万円（73.4%）増の16億5千9百万円、営業利益は3千1百万円（前年同期は営業損失5千1百万円）となりました。

(2) 連結業績予想について

世界経済は貿易摩擦の影響等から減速の動きも出ており先行き不透明な状況が続いております。

足元の業績動向を踏まえ、2019年2月1日に公表しました2019年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

売上高は、ヨウ素及び天然ガス事業において、ヨウ素製品の販売数量およびヨウ素の国際市況が当初想定を上回る見込みであることから、前回予想を上回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の通り、販売数量および国際市況が当初想定を上回る見込みであること等から、前回予想を上回る見込みとなりました。

2019年12月期通期連結業績予想数値の修正（2019年1月1日～2019年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,500	1,800	1,750	1,000	196.06
今回修正予想(B)	16,800	1,950	1,900	1,150	225.49
増減額(B-A)	300	150	150	150	
増減率(%)	1.8	8.3	8.6	15.0	

なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、需要動向の変化等多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は種々の要素により現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,184	2,650
受取手形及び売掛金	4,307	4,170
商品及び製品	2,037	2,062
仕掛品	299	305
原材料及び貯蔵品	915	802
短期貸付金	7,820	7,724
その他	72	99
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	17,634	17,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,479	3,495
機械装置及び運搬具(純額)	3,507	3,925
土地	1,747	1,794
建設仮勘定	1,294	1,005
その他(純額)	210	243
有形固定資産合計	10,240	10,464
無形固定資産		
その他	501	507
無形固定資産合計	501	507
投資その他の資産		
投資有価証券	617	91
繰延税金資産	549	549
その他	150	143
貸倒引当金	△0	△0
投資損失引当金	△537	—
投資その他の資産合計	779	784
固定資産合計	11,521	11,756
資産合計	29,156	29,569

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,400	1,235
短期借入金	600	600
未払金	926	744
未払法人税等	555	400
賞与引当金	123	128
役員賞与引当金	10	5
その他	251	618
流動負債合計	3,867	3,732
固定負債		
退職給付に係る負債	882	943
環境対策引当金	209	209
資産除去債務	216	214
その他	30	27
固定負債合計	1,339	1,396
負債合計	5,206	5,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	16,709	17,259
自己株式	△115	△117
株主資本合計	24,125	24,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	△90	△148
退職給付に係る調整累計額	△85	△82
その他の包括利益累計額合計	△176	△233
純資産合計	23,949	24,440
負債純資産合計	29,156	29,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,075	8,353
売上原価	5,760	6,464
売上総利益	1,314	1,888
販売費及び一般管理費	745	791
営業利益	569	1,096
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	8	5
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失 為替差損	0 16	0 23
営業外費用合計	17	24
経常利益	560	1,077
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資損失引当金戻入額	—	14
特別利益合計	—	14
特別損失		
固定資産除却損	10	33
特別損失合計	10	33
税金等調整前四半期純利益	550	1,059
法人税等	207	356
四半期純利益	342	702
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	342	702

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	342	702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△1
為替換算調整勘定	△57	△58
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△65	△57
四半期包括利益	277	645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	277	645
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

これに伴い、前連結会計年度の連結貸借対照表については、当該変更に伴う表示の組替えを行っております。この結果、組替えを行う前と比べて前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「その他」が92百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が92百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,118	957	7,075	—	7,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	6,118	957	7,075	(—)	7,075
セグメント利益又は損失(△)	621	△51	569	—	569

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,693	1,659	8,353	—	8,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	6,693	1,659	8,353	(—)	8,353
セグメント利益	1,065	31	1,096	—	1,096

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。